



徳山大学 校友会誌

第16号

平成6年12月20日

発行所 徳山大学校友会
〒745 山口県徳山市久米
徳山大学内
TEL 0834 (28) 0411 代
発行責任者 豊岡正行
編集発行人 中村道陽

浅野新学長 就任される

就任される

学長の浅野でございます。私もこの四月から徳山大学にまいりました。皆さん同様の新生であります。

平成六年四月二日徳山大学記念館徳山大学入学式新学長浅野一郎先生の声が響きわたった。それは同時に誰もが待ち望んでいた瞬間との出逢いでもあった。新しい学長より自分の言葉で綴られた格調の高い式辞が流れる。

皆さんは、まず、既存の知識を疑い、自ら考えることを学

ばなければなりません。疑い、かつ、考える態度を失っては大学で学ぶ意味を失うことになります。

この言葉は、新生に止まらず私達OBの胸の奥にも深く刻まれるべき言葉であろう。

既存の価値観の中で、ある程度と言われる生活空間を保ち、その中で、新たな展開を求めることなく流されてはいかないという警鐘として、伝わってきた。

皆さん、これから四年間頑張ろうではありませんか。

と、呼びかけ結ばれた先生の言葉の後には、希望に溢れる入学式にふさわしいさわやかさが残った。

浅野一郎学長略歴

一九二六年一月生まれ
京都大学法学部卒
参議院法制局長
一九八八年〜九〇年三月迄
徳山女子短期大学教授
徳山大学総合経済研究所
所長
一九九〇年四月より九四年
三月迄
関東学園大学教授



祝アジア競技大会出場！

カバディ日本代表

西村・山中選手（20期卒）

アジア競技大会においてカバディ日本代表として徳山大学OBの西村健一氏（広島在住奥アンツーカー勤務）・山中年明氏（長崎在住自営）の二人が出場した。

カバディはインド・バングラデシュなど南アジアの国々で数千年の歴史を持つと言われる伝統あるスポーツで、インドだけでも約三万ものチームがあると言われている。

その起源は、数人の人間が武器を使わずに、声を掛け合いながら小動物を取り囲んで、素手で捕らえる「狩猟」にあると言われ、一度でもこの競技を見た人にはすぐに納得できるであろう。

日本には79年に初めて紹介され81年に日本アマチュアカバディ協会が発足し、89年に第一回全日本カバディ選手権が開かれた。アジア大会正式競技としては90年の北京大会から今回が二回目の大会となった。

試合は、テニスコートほどの広さの中で、七人对七人に分かれ、相手のチームが一人ずつ出て交互に攻め合って進行する。まん中のミッドラインより中に入りカバディカバディと一息で連呼している間に攻撃でき、その間に相手チームの誰かにタッチし、自分の陣内にもどれば点数が入っていく。ただし、タッチして途中でつ



左 西村 右 山中選手

かまれば、相手の得点となる。またタッチして帰る途中つかまってもミッドラインより中の自分の陣地につめの先でも入っていれば得点となるというのが大まかなところである。

インド、バングラデシュ、パキスタン、ネパール、日本の5か国での総当たりリーグ戦の結果、日本は惜しくも一勝三敗の四位であった。

西村、山中両選手は、徳山大学時代カバディをはじめ、今日に至った。「徳山大学に入ってから良かったです」と高らかに言ってくれた両選手の言葉が印象的だった。

一九九四年十月十二日〜十四日
広島修道大学第二グラウンド

浅野学長に

これからの徳山大学を聞く

出席者

徳山大学学長

浅野 一郎

校友会会長

豊岡 正行(一期)

校友会副会長

国広 憲(一期)

校友会幹事長

井上 基義(二期)

司会

校友会情宣部

中村 道陽(十一期)

司会

本日は、新学長として
この春就任されました

会長

浅野 一郎先生を囲んで、これからの徳山大学についてお話ししていただきます。まず、会長から順に学長に対して歓迎の言葉を願います。

待ち焦がれていた学長をお迎えして私達OBとしても感慨ひとしおのところ。学長が「地域に愛される大学」「地域から尊敬される大学」ということを、記者会見等の所信表明でお聞きして、非常に共感しているところで



私達卒業生としては、

地域と共に歩む徳山大学として微力ながらお役に立てればと活動を続けてまいりました。これから大学自体もむずかしい時代に入っていくという事は言うまでもないことです

が、このまま単科大学でいいのかという問題意識を持つております。また地域に愛される大学として、何をすればいいのか、そういった具体的なことを私達も、一緒に考えさせていたいただきたいと思っています。現在、卒業生も全国に八千人を越え、全国で活躍しております。歴史の浅い大学のOB会としてまずまず順調に活動してこれたと思っています。これから、どうぞよろしくお願い致します。

副会長

まずは徳山大学に来ていただいてありがとうございます。ございますという気持ちです。

これから大学は厳しい時代にますます入って

豊岡会長



幹事長

先日も、先生にお会いした際、知の誘致ということを言われたのですが、これは徳山大学自体の問題に止まらず、徳山市が生き残れるかどうかの問題につながっていると感じました。

これまで、あれこれと末端では、市と協力されてきたと思われませんが、徳山市との共同事業としては、この大学が誘致されて以来、実質的には行われていないのではないかと思います。これから行政

司会

学長

と一体になった大学づくりを期待しています。

それでは、学長より就任されての抱負等お聞かせいただきたいと思っています。

歓迎していただいております。ありがとうございます。

ここへ来るまでいろいろと考えました。それは、年齢が六十八歳になつていますから、果してお役に立てるのだろうかと思ひました。

しかし、私の性格としてたのまれたら断れない性格でして、それはどうしても行かなければならないという気持ちになりました。そこで、何を考えたかと申しますと人生六十八になつたらひとつ何か大きな夢を持たなければいけないということをおもいました。

そこで、極めて抽象的にありますが、徳山大学を優れた大学にしたい、日本に誇られる大学にしたい、と思ひました。この夢に残った人生をかけてみようかと思ひ徳山大学に参つたわけです。さてそれで、それをどう具体化していくかと考えたのですが、そこで記者会見の時、「地域に愛され

副会長

る大学」「地域から尊敬される大学」にしようとは思ひました。これは、徳山市に存在する大学なのだから当然のことであるのですが、優れた大学としての第一歩と思ひました。

つ夢を持たなければならぬと思ひられて学長へ就任されたという先生に敬服いたします。

幹事長 私も同感です。地域に對するアプローチにも大変共感いたします。学生に對してはどのようなお考えでしょうか。

学長

学生に對しては、「学んでよかった大学」にしたいと思つてゐるのです。これはどういうことかと申しますと、どうも本学に來る学生は自分に自信が持つていないようなんです。しかし、私はもつと自信を持たさなければいけないと思ふのです。自分が、今からやらなければいけないことは、これだということを見つけて出してひたすら進んで行く青年を輩出していくことによつて「学んでよかった徳山大学」ということにならうと思ふのです。



国広副会長

司会

このための教育方針として市民社会に貢献する人間としての人格形成をしていく教育が大切だと思います。物事を確につかみ判断する能力や、感性を養いさらに健全な体をつくる、こういう教育をして、人間をつくるということに重点を置きたいと考えるのです。こうすることによって学生にも自信がついてくると思うのです。こういうことで少しずつでも前進していこうと努力しているわけです。地域に対して、学生教育に対して方針を示していただいたわけですが、先程冒頭に幹事長からも出ていました。徳山市における徳山大学の役割について構想をお持ちとお聞き

学長

したのですが、それについてお話しただけです。どうですか。私は、徳山市の発展と大学の発展を合わせて考えていかなければならないと考えています。これから徳山市は研究学園都市として発展していかなければならないと思います。何故私があるかと思しますと、まず地方というのは中央の情報を発信する機会が少ないと思います。しかし、発展のためには絶えず情報を受けておかなければならないのにそれを受ける機会も多くありません。だからこういった地方では、情報の発信を豊かにする必要があります。研究の為の情報を豊かにすること、いわゆる「知の受信」を豊かにする必要があります。ここ徳山は幸いにして工業地帯の中にあるわけですから、受信した知を基にして技術開発をし、新しい工業ないし新しい何かを展開していけるのではないかと思います。つまりこれからは「知の受信」を豊かにする

学長

ことによって徳山は工業地帯に密着した形の研究学園都市として発展していけると思うのです。そこでその一端を担うという意味で、徳山大学は役割を果たしていかなければならないと思います。私の考えているところの「知の受信」というのは、何も東京を中心とした中央の情報を得るということだけではありません。これから徳山が知の受信地として発展していくとすれば、世界的な受信地となっていく希望を持つていいと思うのです。と同時に日本全国、世界への発信も行わなければなりません。世界の研究者がここ徳山へ集まってくる世界の研究学園都市になればいいと思います。

副会長

スケールの大きいお話に圧倒される思いさえしますが、徳山に、そこまでの素地というものがあろうのでしょうか。

学長

十分素地はあると思います。何故私がそういう発想をするかと申しますと、この徳山の工業地帯の発祥の源というのをご存知の通り、徳山海軍燃料廠だと思

司会

います。この徳山海軍燃料廠というのが当時、この地域においてどういう意味があったか、それは、エネルギー技術の中心であったということが言えると思うのです。私はこれからの科学はエネルギーの科学と環境の科学だと考えています。そういう中でエネルギーの科学の知の受信地であり発信地であればいいと思うのです。エネルギーと環境がこれからの時代の科学ということから徳山が知の受信地として発展していくということですが、そういう中で徳山大学はどういう役割を担っていけるとお考えでしょうか。

学長

エネルギー科学の問題にも必ず社会経済的な



井上幹事長

司会

面があります。そういった面を本学が担っていけばいいと思います。アメリカにはMIT（マサチューセッツ工科大学）という立派な工科大学があるので、日本のMITというものを徳山大学の中核として構築していけばいいという夢を抱いています。徳山市が研究学園都市として世界的な知の受信地となるため、徳山大学がその母体となっていけたらいいと思っています。そのためにも、OBの皆さんのご支援なくしてはできないものと思っています。それから、皆さんと手を取り合って小さな夢から一歩一歩実現していきたいなと思っています。それでは最後に会長より一言お願いします。学長先生より遠大な構想をお聞かせいただき共感すると共に私達OBとしても大いに励みになりました。先生の今後のご活躍を祈念いたしております。

司会

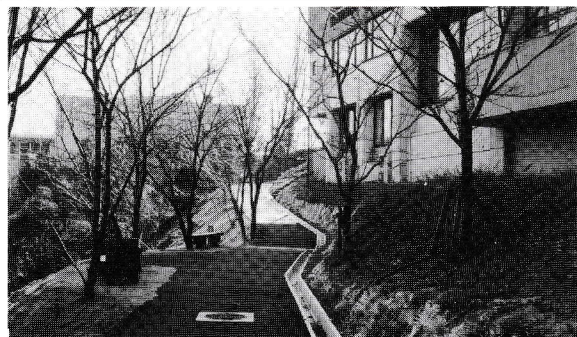
本日は皆様お忙しい中まことにありがとうございます。

遊歩道

「語らいの小径」

大学の裏側のため池を囲むようにこの度遊歩道が完成した。学生会館裏からはじまり10号館を左上手に見上げ、桜並木の間をぬうように道は松下山塾模範まで続く。途中、四季折々の植物が植えられ歩く人の目を楽しませてくれることだろう。池の向こう側から、キャンパスを眺めると自然と校舎がほどこいコントラストを見せて、心地良さを感じさせてくれた。

この遊歩道は名称公募の結果、「語らいの小径」と名付けられた。その名の通り、いろいろなことを語り合いながらやすらぎを感じる遊歩道となることだろう。



平成六年度 評議員会

本年も定例評議員会が、徳山市内のホテルにおいて開催された。議事として

- (1)平成五年度事業及び決算
- (2)平成五年度監査報告
- (3)平成六年度活動方針と事業計画
- (4)平成六年度予算案
- (5)会則改定

について審議された。この中で(3)活動方針の中で、新学長を積極的
に支援してゆき、母校に対する物
心両面から支えていくということが
発表された。また、本年四月より
徳山教育財団理事として、校友
会会長が選任され理事会の一員と
なったことについて報告があった。
さらに(5)会則改定の中で、発
会以来据え置かれていた終身会費
五千円を一万円に引き上げする
ということについて審議され、全会
一致で決定した。

最後に報告事項として、20周年
記念事業に伴う諮問委員会の発足
と委員の紹介が行われた。

この後、大学関係者を交えて懇
親会が開かれ、途中徳山大学・女
子短大の回天太鼓同好会の演奏な
ど行われ終始なごやかな雰囲気
の中、親睦が深められた。

平成六年六月二十五日十六時
二十時
徳山市アドホックホテル丸福



平成6年度 予算案				
収入の部				
科目	項目	予算額	前年度比	備考
前期繰越金	前期繰越金	2,073,956	1,658,367	
	会費	8,580,000	0	
	(21期生入会金)	2,850,000	0	@ 5,000×570
	(21期生会費)	5,700,000	0	@10,000×570
	(追徴会費)	15,000	0	
事業積立取崩金	事業積立取崩金	0	△2,000,000	
	雑収入	196,044	△108,367	
雑収入	(雑収入)	100,000	△100,000	名簿
	(受取利息)	96,044	△8,367	
計		10,850,000	△450,000	
支出の部				
科目	項目	予算額	前年度比	備考
会務運営費	会務運営費	4,180,000	160,000	
	(備品費)	50,000	0	
	(会議費)	700,000	100,000	評議員会、20周年記念事業諮問委員会、他
	(通信費)	650,000	200,000	機関誌発注費、切手、他
	(委託手数料)	10,000	0	証明手数料、他
	(事務費)	280,000	30,000	コピー用紙、他
	(渉外費)	200,000	△100,000	
	(慶弔費)	50,000	0	
	(諸会費)	10,000	0	
	(交際費)	150,000	△50,000	
	(旅費交通費)	700,000	0	旅費出張費、費用弁償
	(人件費)	820,000	△280,000	事務職員給与・アルバイト料
	(消耗品費)	350,000	200,000	トータルサービス料他
	(借入金)	210,000	60,000	リース料(コピー他)
	部費	4,580,000	△1,400,000	
部費	(企画部費)	1,630,000	△250,000	文化講演会の開催、卒業記念品等
	(情報部費)	1,730,000	△1,150,000	機関誌、学長代、20周年記念名簿
	(組織強化部費)	1,200,000	0	各支部・学生援助費、他
	事業積立基金	1,700,000	700,000	
基予備費	基予備費	390,000	90,000	
	予備費	10,850,000	△450,000	

平成5年度 決算書				
収入の部				
科目	項目	予算額	決算額	差額
前期繰越金	前期繰越金	415,589	415,589	0
	会費	8,580,000	8,295,000	△285,000
	(20期生入会金)	(2,765,000)	(2,765,000)	(△85,000)
	(20期生会費)	(5,530,000)	(5,530,000)	(△170,000)
	(追徴会費)	(15,000)	(0)	(△15,000)
特別会計繰入金	特別会計繰入金	0	0	0
	雑収入	304,411	262,608	△41,803
雑収入	(雑収入)	(200,000)	(110,300)	(△89,700)
	(受取利息)	(104,411)	(152,308)	(△47,897)
事業積立基金取崩	事業積立基金取崩	2,000,000	2,000,000	0
計		11,300,000	10,973,197	△326,803
支出の部				
科目	項目	予算額	決算額	差額
会務運営費	会務運営費	4,770,000	4,226,865	△543,135
	(備品費)	(50,000)	(49,491)	(△509)
	(会議費)	(600,000)	(575,323)	(△24,677)
	(通信費)	(450,000)	(445,492)	(△4,508)
	(委託手数料)	(10,000)	(9,682)	(△318)
	(事務費)	(250,000)	(218,083)	(△31,917)
	(渉外費)	(300,000)	(35,000)	(△265,000)
	(慶弔費)	(50,000)	(40,000)	(△10,000)
	(諸会費)	(10,000)	(0)	(△10,000)
	(交際費)	(200,000)	(137,499)	(△62,501)
	(旅費交通費)	(700,000)	(591,310)	(△108,690)
	(記念品費)	(750,000)	(732,845)	(△17,155)
	(人件費)	(1,100,000)	(1,100,000)	(0)
	(消耗品費)	(150,000)	(150,000)	(0)
	(借入金)	(150,000)	(142,140)	(△7,860)
部費	部費	5,230,000	3,620,674	△1,609,326
	(企画部費)	(1,130,000)	(968,573)	(△161,427)
	(情報部費)	(2,900,000)	(1,532,843)	(△1,367,157)
	(組織強化部費)	(1,200,000)	(1,119,258)	(△80,742)
基金	事業積立基金	1,000,000	1,000,000	0
	予備費	300,000	51,702	△248,298
次年度繰越	次年度繰越	0	2,073,956	2,073,956
	計	11,300,000	10,973,197	△326,803



平成六年八月二十日(土)
十八時〜二十時
徳山市敦煌新館にて

山口県東部支部同窓会

山口県東部支部では、同窓会が
開催され、六十名の参加者があつ
た。

旧交を温める中、支部長の古谷
幸男氏よりあいさつがあり、まず
は地元東部支部の結束こそ校友会
発展のための基本であり、この同
窓会を通してひとりでも多くの知
り合いを作って下さいと話した。
カードを購入し参加するという方
法でビンゴゲームが行われ、自転
車をはじめとした豪華景品を前に
大いに盛り上った。



平成六年十月七日(金) 十九時
〜二十一時
新宿センタービルレストラン
サンスカイ

関東支部総会

昨年引き続き第二回の関東支
部総会が開催された。

まず、廣瀬孝夫関東支部長から
「少しずつで輪を広げていきたい
と思います。来年もここに今日こ
られた方は全員ご出席願いたい
と思います。」と挨拶があった後議
事に入り決算報告、予算案等審議
された。この後、浅野学長を囲ん
で懇親会が開かれ五十一階の会場
はなごやかな雰囲気包まれた。
なお、この会の開催に合わせ
て、校友会設立20周年記念のため
の寄付も行われた。

関東支部のみなさんから全国
のOBへのメッセージ

- ①氏名
- ②卒業期
- ③在学中の学生団体・クラ
ブ・寮等所属
- ④在学中一番印象に残って
いること
- ⑤現在の職業
- ⑥大学時代の友人へ一言

- ①小田 曉人
- ②16期
- ③早川ゴム(株)東京支店
- ④平嶋仁士君元気にしてます
か。
- ⑤浦 國彦
- ⑥12期
- ⑦地歴研究会
- ⑧クラブの調査活動
- ⑨THK(株)本社営業整理部
- ⑩中井恒夫
- ⑪7期
- ⑫新開会・光風寮
- ⑬中井しげ子
- ⑭7期
- ⑮新聞会
- ⑯大学祭
- ⑰主婦
- ⑱みな様お元気ですか♥
- ⑲木村六美
- ⑳7期
- ㉑学生会
- ㉒大学祭実行委員をしたこと
- ㉓皆さんお元気ですか
- ㉔13期
- ㉕船本浩司

① 深田典宏
② 17期 ③ ハンドボール部
④ 部活の試合での遠征
⑤ 榊シマヤ
「だしの素」の「シマヤ」を
よろしく願います。

① 深田麻衣
② 17期
③ ハンドボール部（マネージ
ャ）
④ クラブ活動 ⑤ 主婦
⑥ 今年の2月にめでたく結婚す
ることができました。夫婦そ
ろって校友会関東支部総会に
出席できてうれしいです。

① 松本繁樹
② 6期 ④ 強歩大会
⑤ 東京日産自動車販売商事部
⑥ 田中元気でやってくるか!!

① 石川政隆
② 6期 ③ 教育研究会・城丘寮
④ 三年生の時大学祭実行委員会
をやった事。教育研究会へ所
属し、サークル活動をした
事。

⑤ ロイヤル(榊)バトラーズ
八王子店支配人
ステーキ・焼き肉・サラダバー
が楽しめるレストランです。
⑥ 東京八王子へ来て早くも五年
が経ちました。お近くへお越
しの際はお気軽にお立ち寄り
下さい。

① 赤澤浩文
② 8期
③ (榊)アイ・ディ・ケイ
ダイカトス 鋳造をやっていま
す。
⑥ 吉永君、元気ですか？

① 内田達人
② 13期 ③ ハンドボール部
④ クラブ活動
⑤ サンエイポリマー(榊)
東京営業所
⑥ 福光真氏元気でやっていますか

① 山本啓三
② 4期 ③ ワンゲル部
④ 教職課程を頑張ったこと。
アルバイトをよくやったこ
と。

⑤ J.R.貨物に就職して早いもの
で15年となり、そのうち広島
転勤となりました。その節
はより近くなり学校へ足を運
びたいと思います。
⑥ 皆さん後輩のために共に頑張
りましょう

① 中島雅美
② 8期 ③ 硬式野球部
④ 3年生の時明治神宮大会（野
球）に出場した事
⑤ 鈴木油脂工業(榊)東京営業所
工業用洗浄剤、ケミカル、マ
イクロカプセル製造販売
⑥ 硬式野球部8期生全員集合し
たいですね

① 國武早苗
② 17期 ③ 少林寺拳法部
④ 中四国大会で優勝した事
⑤ 総合警備保障(榊)営業
警備ではトップの会社です。
もし警備の必要ございましたら
ご連絡下さい。

① 佐々木俊衛
② 16期（15期入学）
④ 一回生の時の合気道部生活
⑤ 新卒で入社した会社を辞め、
株式会社採用戦略を設立して

三年目になります。新卒採
用、中途採用のためのダイレ
クトメール、入社案内、会社
案内、採用コンサルティング
等を業務としております。全
国三十数万人の学生名簿を保
有しておりますのでユース
マーケット関連の事でしたら
是非ご協力させて頂きたい。
株式会社 採用戦略
渋谷区神宮前六・七・十一
TEL 三三〇〇一五二二(代)
FAX 三三〇〇一五二〇三

⑥ 三原パレスホテルにて
岡田和隆君ご結婚おめでとう

① 鶴崎信一
② 12期 ③ 柔道部 ④ 寮生活
⑤ 総合警備保障(榊)金融営業部
⑥ 柔道部OB頑張れ

① 田中哲也
② 12期
④ 特定の先生ですが懇意にして
もらった。
⑤ 株式会社地産総務部人事課

※ このメッセージは当日出席者
の中よりアンケートをいただいた
ものに基づき作成いたしました。

20周年記念事業諮問委員会

校友会設立20周年を記念しての
事業を諮問するための委員会が開
催された。委員は次のとおり、

委員長 福原良裕（一期）
リコー精器(榊)
委員 兼重宗和（一期）
徳山大学

島田善正（一期）
島田車輛販売

松宮 光（七期）
総合警備保障

守田文男（七期）
(榊)JUKI

守田武史（八期）
徳山女子短期大学

北村信也（十四期）
JA戊申支所

清水克敏（十五期）
徳山市役所

山本啓介（十七期）
新南陽市役所

委員会は七月八月と二回にわた
って行われた。委員の間からは、
活発な意見が出され、委員長がそ
の意見を取りまとめ会長に答申し
た。校友会ではこの答申に基づき
20周年の記念事業を検討する。
答申は次のとおり

一、何か有形なものを学内に
設置する

このことについて、単純
に学内にモニメント的
なものにするのではなく、
地域に対してアピールす
るようなものであり、そ
のため最初から学内に設
置するのでなく一定期間
市民の目にふれることの
できる場所に設置できる
何かが望ましいという意
見であった。

二、学外に卒業生が集まる空
間を設置する

これはOB同志が気楽に
集まり、情報交換をする
場所の設置ということで
徳山市内にOB会館、休
養できる施設、OB用飲
食店の開設ということが
具体的には上げられた。

三、年間通じて地域と一体と
なったイベントで展開する

来年は徳山市の市制60周
年ということもあり、市
大学・校友会が企画の段
階からタイアップして一
年間、講演会やコンサ
ートその他のイベントを行
うというものである。
コンサート等行った場合
でも文化会館規模のもの
でなく、周南緑地公園を
中心として野外で行うな

として、地域の活性化の
起爆剤となり周南地区の
文化を校友会がリードし
ていくことを目的とする
ものとする。

校友会会員名簿のご案内

校友会創立20周年を記念して会
員名簿を発行いたしました。
内容は、B5版三百十一頁
現住所・勤務先・クラブ・ゼミ
等を掲載しており、50音順・県別索
引も付いています。

尚、クラブ・ゼミに関しては大
学に残っていた資料に基づき作成
致しましたのでご了承下さい。
販売価格は、
一冊 四、八〇〇円（送料込）
お問い合わせは、
校友会事務局
（〇八三四一・八一〇四二）（二五）
までお願いします。

お知らせ

最近「徳山大学同窓会」と名乗
って、新聞広告の掲載を強要する
という問い合わせが多数ありまし
た。
これは、本会とは一切関係ござ
いませので、ご注意ください。

訃報

校友会評議員であり、事務局長も
務められた、
鹿嶋三生氏（二期卒）が十月二日未
明にお亡くなりになりました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(レポート)

全日本大学駅伝

徳山大4年連続14回目出場

駅伝の大学日本一を決める第二十六回全日本大学駅伝対校選手権大会は十一月六日、中国地区代表の徳山大を始め全国二十三代表と米国・アイビリーリーグ選抜チームが参加して、名古屋市の熱田神宮から伊勢市の伊勢神宮までの八区間106・8キロのコースで行われた。

大会当日は気温こそ平年よりやや高いものの、三重県四日市市にさしかかる三区あたりより雨が降りだすと、ゴール付近の伊勢市ではさらに雨足がひどくなるというレースの中、徳山大は昨年のタイムを4分近く上回る健闘を見せ総合12位(5時間34分57秒)でゴールした。

なお、優勝は早大と山梨学院大とがデッドヒートを繰り広げる接戦の末、早大が山梨学院大を振り切り3連覇を果たした。

レースはスタートから見せてくれた。一区のランナー樋口(二年)が序盤上位グループを形成する好位置をキープ、そのまま自分のペースを崩すことなく第一中継点へ6位でタスキを渡す。続く二区松村(三年)で順位を一つ落としたものの、三区吉本(三年)と例年どおり関東勢が上位を占めるなか京産大に次ぐ7位でタスキを継いだ。そして中盤の四区、ここは各大学とも主力級を投入してくる重要な区間。高倉監督も「ここが上手く続けるかでウチの出来が決まってくる。」と心配する。が

しかし、四区矢田(四年)が11位に後退、五区山田(三年)が順位を守り、六区有吉(四年)で12位に、そして七区栗原(一年)、最終八区青山(一年)と追い込みきれずそのままゴール。

順位こそ12位と昨年と同位といったところだが、今年は何といても出場以来始めて繰り上げスタートとならずタスキをゴールまで継いだという満足感を得たことだろう。レース後高倉監督も2・3年を中心とした若いチームで結果を出せたことから「来年は期待できる。」と自信をのぞかせた。

平成六年度

クラブ活動の 主な成績

〔陸上競技部〕

全日本大学駅伝対校選手権大会 12位

磯部知子(二年)

日本学生陸上競技選手権大会 千五百メートル 2位

山田貴志(三年)

プレ・ユニバーシアード

福岡国際陸上競技大会

千五百メートル 6位

西日本学生陸上競技対校選手権大会

五千・一万メートル 各2位

〔柔道〕

中国四国学生柔道優勝大会 3位

〔レスリング〕

西日本学生レスリング 春季リーグ 優勝

秋季リーグ 準優勝

岩崎智都(二年)

全日本ジュニアレスリング選手権大会(ジュニア) 優勝

115Kg級フリー

全日本学生レスリング選手権大会

130Kg級グレコ

岡本信也(二年)

全日本学生レスリング選手権大会

62Kg級グレコ

〔剣道〕

中国四国学生剣道優勝大会 準優勝

〔ラグビー〕

全国地区対抗ラグビーフットボール大会中国四国代表決定戦 優勝

〔ボクシング〕

オール中国大学ボクシング大会 優勝

〔硬式野球〕

中国六大学野球 春季・秋季リーグ 2位

〔軟式野球〕

西日本地区学生軟式野球春季一部リーグ 優勝

〔女子バスケットボール〕

中国学生バスケットボール優勝大会春季大会 優勝

中国学生バスケットボール選手権秋季大会 優勝

全関西バスケットボール大会 3位

女子バスケットの四年生のメンバーです。左から隠塚京子さん(東京銀行内定、橋本泉さん(徳山大学校友会事務局内定)、中尾知佳子さん(教員志望、森宗三穂子さん(グリーン歯科内定)です。見るとおりの笑顔のすてきなフレッシュな四人でした。

〔重(伊勢神宮)〕



ポプラ祭大盛況!!

第24回ポプラ祭が今年も開催された。今年のポプラ祭のテーマは「千客万来」。名は体を表すとはよく言ったもので、今年のポプラ祭の延べ動員数は一万人とも言われ、大変な賑わいを見せた。

今回のポプラ祭にはいくつかの特徴が見られた。まずひとつは、動員数にある。これは、一週間前の市中パレードをはじめとしてラジオでのスポット、テレビ出演広報、雑誌、さらには公共機関等へのPRまで、周知徹底した広報活動が行われた結果であろうが、当然内容の伴わないことには人も集まってこない。その内容もバラエティに富んでいた。フリーマーケットによる主婦層の参加、ファミコン大会によるファミリーの動



員、KRYラジオ企画の総額百万円の宝さがしと嘉門達夫のライブという万人向け企画に代表されるように幅広い層から、動員できるようなというテーマにのっとった企画が、的を射とめてこのような大動員へつながったようであった。

いまひとつは、教職員と学生の協力関係が非常に調和のとれていたところにある。二ヶ月以上前から、学生は深夜にわたってリハサル・準備をはじめた。これを側面的にあるいは縁の下から支えたのは、学生部をはじめとした教職員であった。教職員と学生のハーモニーの奏でられた大学祭であった。来年はさらに素晴らしい大学祭になることを願って止まない。

編集後記

今年もいろいろなことがありました。そんな中でもスポーツの話題は、私達卒業生にとってもいちはんわかりやすく、またうれしいニュースです。来年も各クラブの活躍を期待したいものです。校友会も20周年を迎える年となり記念事業も企画検討中です。みなさまのご意見もお聞かせいただきたいと思っています。11月26日推薦入試が行われ、受験者数一二〇名で合格者数が三三六名でした。OBの皆様のまわりの方にひとりでも多く徳大をご紹介下さい。

